

事業番号	15 07 11	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	青年の家・少年自然の家管理運営費				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	文化財・生涯学習課		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり ◆学びの成果が生きる生涯学習の振興			E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S52 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の導入による民間のノウハウ等を活用した効率的な管理・運営及び利用者へのサービスの向上を図る。 青少年教育施設がもつ教育機能を有効活用し、青少年に対する自然体験や集団活動の機会の提供とする。 					
現状	指定管理者制度の導入によりサービスの向上、効率的な管理運営が図られたと評価できるが、長野県行政・財政改革方針に基づき現行の4所体制について、そのあり方を見直していく。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 長野県青年の家条例、長野県少年自然の家条例、教育基本法、学校教育法、社会教育法				
	県民との協働による実施：検討中					
事業内容	① 成果目標 (H25)					
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の効率的な管理・運営 施設利用者の増 自主事業の充実(実施回数増) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
	青年の家・少年自然の家管理運営事業	委託	指定管理者が行う青年の家(松川・須坂)、少年自然の家(望月・阿南)に係る業務 ・施設の管理・運営 ・青少年の体験活動に資する自主事業の実施	110,533	110,396	112,153
	合計			110,533	110,396	112,153

事業	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
		前年度繰越			
予算額	当初予算	111,500	111,856	110,533	112,153
	補正予算				
	合計(A)	111,500	111,856	110,533	112,153
	国庫支出金				
Aの財源	県債				
	その他(財産収入)	619	309	309	309
	一般財源	110,881	111,547	110,224	111,844
	決算額(B)	111,500	111,729	110,396	
ト	概算人員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50
	概算人員費(C)	12,387	12,387	12,387	12,387
	概算事業費(B(A)+C)	123,887	124,116	122,783	124,540

項目	H24末(実績)	H25 成果目標の達成状況			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
延利用人員(宿泊+日帰り)	76,249人	77,500人	75,791人	未達成	77,500人
自主事業実施回数	165回	145回	146回	達成	192回

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響で増加していた利用者の一部が、元の利用施設へ切り替えたことや、2月の大雪の影響により利用者数が減少した。 自主事業は自然体験活動を主軸に充実した内容となっており、引続き充実した自主事業実施を求めていく。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	現在、青年の家・少年自然の家のあり方を検討しているが、自然体験活動の重要性が指摘される中で、青少年教育施設として重要な役割を担っているため、H26年度は、これまでどおり事業を継続していく。